

有馬温泉、みなとまち、異人館、
神戸の観光資源を外国人観光客誘致につなげる。

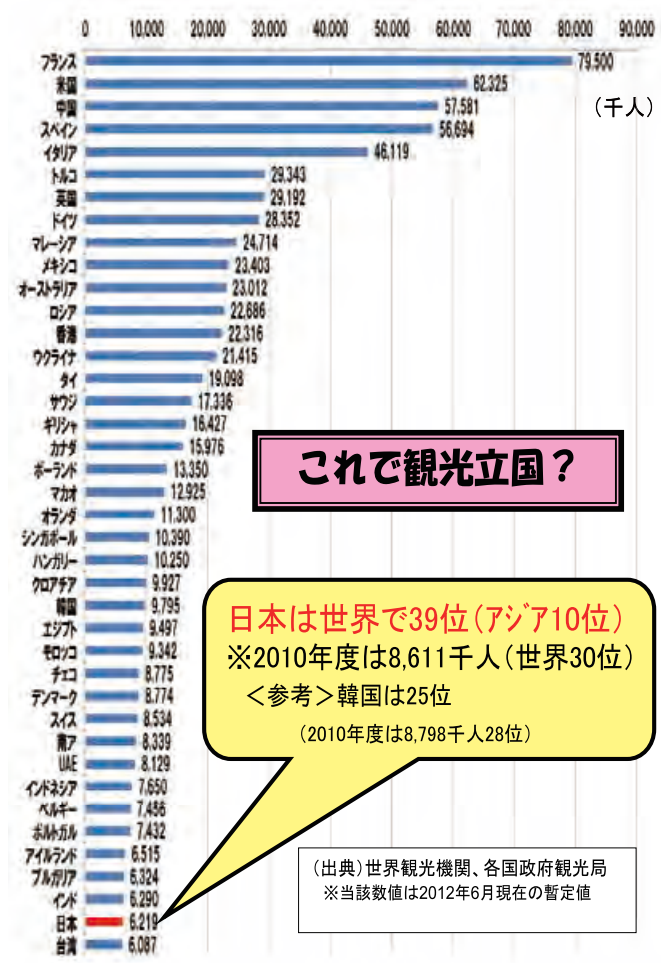


カジノを関西に誘致し、 神戸が観光立国の一翼を担います。

カジノのターゲットは外国人富裕層。
設置は複合施設として全国3か所限定。
特定複合観光施設推進法 (IR推進法) を制定します。

- ### IR推進法とは
- ①自治体の申請に基づき国が特定の地域だけで整備することを認める。
 - ②認定には相当厳格な審査を行い、脱税、犯罪の温床にならないようにする。
 - ③カジノ単体では設置を認めず、雇用等地域経済の振興に資するものとする。
 - ④民間資本の活用し、公的負担は行わない。

外国人旅行者受入数の国際比較(2011年度)



これで観光立国?

日本は世界で39位(アジア10位)
※2010年度は8,611千人(世界30位)
<参考>韓国は25位
(2010年度は8,798千人28位)

(出典)世界観光機関、各国政府観光局
※当該数値は2012年6月現在の暫定値



アジアの成長を観光でも取り込め

- アジアの観光客はこの10年間で倍増(世界観光機構予測)
- アジアの中間所得層はこの10年で倍増

【関西、神戸が外国人観光客を取り込める理由】

- 世界遺産の4割、国宝の6割、重要文化財の5割が関西に集中している。
- 神戸、大阪、京都、奈良、それぞれに個性的な文化とスポットがある。
- 神戸ビーフ、粉もん、料亭、それぞれの伝統的食文化がある。
- ホテル、交通アクセス、ナイトライフなどの観光インフラが整備されている。



癒しの有馬、夜景のみなど、他にはない神戸の魅力

あとは、MICE (国際会議などができる複合施設)と大人のエンターテインメント!

カジノのマイナスイメージ

- ギャンブル依存症が増える
→本人もしくは家族の申請で入場禁止
- 青少年への悪影響
→特定の地域に限定し接近自体を制限
- 治安の悪化
→国の厳格な介入により運営をオープンに
- 勤労意欲の減退
→日本人には入場料を徴収するなどの入場制限



ラスベガス、マカオ、シンガポール、各地のカジノ経営者と意見交換

Point シンガポールの成功に学べ

シンガポールは、めざましい成長を続けています。特に、観光分野では毎年20%以上の伸びを続けています。その大きな理由は2つの統合型リゾート(IR)の開業です。合計投資額は1兆円、その中にカジノが開業されていますが、それは全体の5%程度です。昨年、この施設による経済効果で約1,300億円の税収と2万人の雇用確保が実現しています。

シンガポールの建国の父、リー・クワンユー氏は、「資源のない自国が今後も長期的成長を維持するためには、国際貿易と投資、人材のハブとして魅力を持ち続けることが不可欠だ」とし、その為にカジノを併設した統合リゾートを持つことの重要性を指摘しました。この事情は、日本も同じではないでしょうか。

